

「遠回りした道程」

大東消防署 消防隊 消防士 青木 駿 (平成 26 年入職)

遠回りしたけれど。。。

中学校を卒業後、高校には行かずに就職するという道を選んだ私は、地元福岡で3年間働き、18歳になったのを機に大阪でひとり暮らしを始めました。一人で生活を送る中で、自分の将来に不安を感じ、自分を見つめ直す機会にと定時制の高校に入学しました。

目標となる仕事を探す高校生活の中で、先生から消防職を勧められたのをきっかけに消防の仕事に興味をもち、いつしか「この仕事に就きたい!」と思い、消防士を目指すようになりました。



救急救命士への道へ

高校卒業後は、消防士を目指す過程において、人の命について学びたいと考え、救急救命士の専門学校に入学しました。救急医療を学ぶことはもちろんですが、人の命を預かる仕事の大切さを学びました。専門学校を卒業し、念願の消防士になる事ができましたが、これはゴールではなくスタートだと思っています。



遠回りした私から伝えたいこと



消防の仕事は一般の会社とは違い24時間の勤務体制であり、食事、入浴や仮眠等を共にし、災害発生時には円滑に連携をとり活動しなければなりません。したがって、私は日頃から積極的にコミュニケーションをとることを大切にし、先輩や上司の方々に指導してもらいながら厳しい訓練や筋力トレーニングに励んでいます。

高校に入学するのも遅く、少し遠回りをした私ですが周りの方々に支えられる事で目標を諦める事無く消防士になる事ができました。消防士を目指しているみなさん! 支えてくれ、応援してくれてくれた人の為にも必ず目標を掴んでください。皆さんと働けるのを楽しみにしています。